

地理歴史科（歴史総合）学習指導案

埼玉県立久喜高等学校

教諭 掛田 洋一

1 単元名：「近代化と私たち」（２）結びつく世界と日本の開国

2 単元について

（１）教材観

欧州とアジアのパワーバランスの転換点となる 18～19 世紀の歴史を学びつつ、その背景・理由に対する知識を深める。その上で現代の諸課題との関連性を、生徒自らが問を立てつつ考察し、「現代的な諸課題は、近代化の中でどのように形成されていったのか」という命題に対する理解を深め、その解決策を模索できるようにしていく。

（２）生徒観

ここまでの指導では、新学習指導要領大項目 A「歴史の扉」を通じて、歴史を学ぶ意義や歴史の学び方を学習している。その学習の上に具体的に歴史の大きな変化である、英の近代化とそれによる世界の枠組みの変化を学んでいく。その際教師は、毎時ごとの授業において生徒が抱く素朴な疑問を拾い上げ、最終的には生徒自らが問を立てられるよう導いていく必要がある。

（３）指導観

上記のような目標を達成するため、学習は 4～5 人程度のグループ学習とする。少人数のグループを作ることにより、発言のしやすさや協働性を確保したい。また KP 法を導入し、毎授業の目標を常に示すとともに、授業終了時に授業の流れを振り返りやすいようにしていきたい。また授業終了時には別添資料（別紙④）を使用し振り返りをおこないつつ、その用紙を使い生徒の問いを拾うということもおこない、次時の授業へとつなげていく。

3 単元の目標及び評価規準

（１）単元の目標

なぜ欧州とアジアの軍事的・経済的優位関係は逆転したのか。

（２）単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・ 歴史的事項の因果とその流れを把握することができる。	・ 提示された資料・史料から情報を読み取ることができる。 ・ 読み取った情報や自分の意見を、発言したり文章化したりして表現することができる。	・ 資料・史料から読み取った情報を班内で共有し、議論を深めることができる。 ・ 学習内容に対して興味を示し、問を持つことができる。

4 指導計画（別紙①参照）

時	指 導 内 容 等
1	・本初子午線と、世界各地に冠された女王の名 「なぜグリニッジが経度の基準となり、ビクトリア○○（湖・駅・・・）が多いのか。」
2・3	・清を中心とした東アジアの貿易網と江戸幕府の鎖国体制 「19cヨーロッパが求める貿易と、清を中心とした東アジアの貿易網の違いは何か。」
4	・産業革命と交通・通信手段の革新 「産業革命とはどのような変化だろうか。」
5	・産業革命とイギリスの社会変化 「産業革命によって、イギリスではどのような社会変化がおこったか。」
6 本時	・英・清間の貿易変化とアヘン戦争 「アヘン戦争は清を中心とした東アジアにどのような変化をもたらしたのか。」
7	・日本の開国 「欧米諸国の東アジア進出は、日本にどのような変化をもたらしたのか。」

5 本時の学習

（1）ねらい

- ・「アヘン戦争は清を中心とした東アジアにどのような変化をもたらしたか。」ということを、（自ら）問を設定しつつ理解する。
- ・上記の変化が現代の諸課題にどのようにつながっているか認識したうえで、その改善策を考える。

（2）展開

時	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準＜4観点＞
導 入 10	・思考コード（別紙③）について ・英・清の技術的差異について	・主題及び思考コードにより本時の目標を認識する ・「アヘン戦争」を描いた銅版画を見、班ごとに問3・4を考え発表	・技術的差異だけが、戦争の勝敗を決めたわけではないことを補足	・前時の授業内容（産業革命）との関連性を版画の持つ情報から見出すことができるか（知識・技能）
展 開 25	・アヘン戦争の概要について ・南京条約について ・1757年乾隆帝の貿易制限令について ・片貿易について	・プリント（別紙②）空欄（1・2）に入る語句を、教師の説明を聞きながら記入する ・班ごとに条文を読み、英のアヘン戦争の「ねらい」を考える ・プリント空欄（3・4・5）に入る語句を、教師の説明を聞きながら記入する ・個々に問5を考える	・プリント空欄（1・2）に入る語句を解説しながら板書 ・ヴィクトリア女王の開戦直前の演説を紹介し、「ねらい」を考えるきっかけとする ・適切な答えが出ない場合は、先に進める ・プリント空欄（3・4・5）に入る語句を解説しながら板書 ・個々に答えさせ、適宜コメントを行い、正解である「銀」を伝え、イギリスの輸入超過であることを説明	・戦争の直接の原因について理解できるか(理解) ・条文・演説の内容から推測することができるか（思考・表現） ・清の貿易が制限貿易であり、英にとって不利であったことを理解できるか（理解）

	・マカートニーと乾隆帝の会談について ・三角貿易について	・班ごとに問6を考える ・個々に問7を考える	・英・清両国がアヘン戦争に至ったことから推測するよう促す ・三角貿易が植民地インド政府を潤し、そのことが英国産製品（綿製品）の購買意欲につながり、「銀」が本国に還流するようになったことを説明	・戦争に至った経緯から、推測し表現することができるか（判断・表現） ・アヘンが単なる貿易商品としてではなく、植民地の財源となりインドが英国産製品の市場化していったことを理解（理解）
まとめ 15	・その後の流れについて ・本時の内容について	・班ごとに問8を考え、全体に問いかける ・まとめ（別紙④おもて）の空欄補充をおこない、班内で確認	・中学校で学んだことに結び付けられるよう促す ・英だけでなく米・仏とも南京条約と同様の条約を締結したことを伝え、欧米の自由貿易化への圧力が広まっていったことを説明	・視野を東アジアへ広げることができるか（応用） ・本時の学習内容を文章の中に落とし込むことができるか（知識）
	進捗状況によっては、宿題とする ・振り返り	・振り返りシート（別紙④うら）を各自で記入発表する。	・個々に答えさせ、適宜コメントをおこなう ・授業後回収し、次時の授業への「問い」につなげる	・本時の学習内容をメタ認知することができるか（理解・思考・表現）

6 板書例と使用資料

（1）思考コード

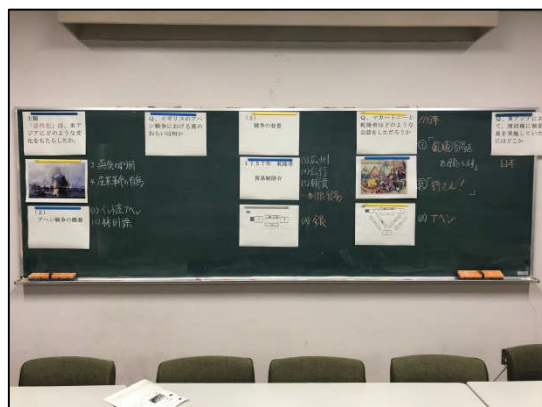
別紙③

首都圏模試センターの「ザビエルの思考コード」をもとに本時の思考コードを作成。

「A知識・理解思考」、「B論理的思考」については授業プリントに反映してある。「C創造的思考」については本時の目標として生徒に認識させ、定期考査等での使用を想定している。

（2）KP法（紙芝居プレゼンテーション法）

写真のようにA3版の紙に主題や問（別紙⑤参照）を書き、黒板に貼りつける手法。生徒の板書時間の短縮化と考える時間の確保、また授業終了時の「振り返り」のしやすさを目的としている。



（3）使用プリント

別紙②参照

(4) 参考文献・資料

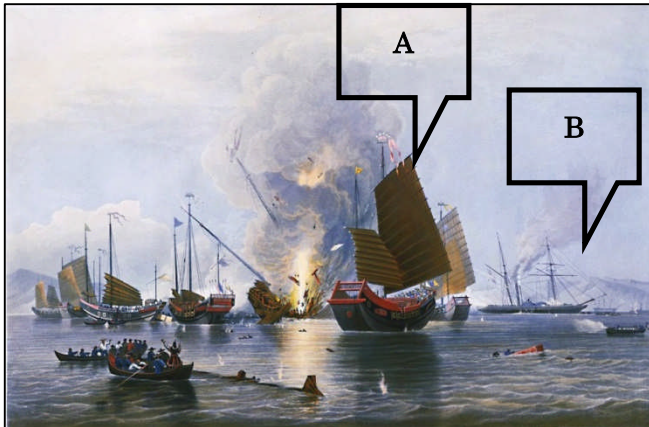
祝田 秀全	『銀の世界史』筑摩書房	2016 年
川北 稔・桃木 至朗 監修	『最新世界史図説 タペストリー十五訂版』	2017 年
木村 尚三郎 監修	『世界史資料 下巻』東京法令	1977 年
小林 克則・早川 英昭 監修	『世界史をどう教えるか』山川出版社	2008 年
斯波 義信 監修	『ア！教科書で見たソ』東洋文庫	2012 年
多々良 穰	「主体的・対話的で深い学び」に向けた世界史授業の実践」 『歴史と地理 1 1 月号』山川出版社	2018 年
平野 聡	『興亡の世界史 大清帝国と中華の混迷』講談社	2018 年
吉澤 誠一郎	「補入号の世界史」『パブリック・ヒストリー 10』	2013 年

「B近代化と私たち」授業構成案				別紙①
学習指導要領項目	時数	項 目	問 い	SDGs
B近代化と私たち		・現代的な諸課題は、近代化の中で どのように形成 されていったのだろうか。		
(1)近代化への問い				
		・なぜ私たちの生活は欧州起源の制度に影響下にあるのか(経度・暦・機械式時計・地名)。		
	1	・本初子午線と、世界各地に冠された女王の名	・なぜグリニッジが経度の基準となり、ピクトリア〇〇(湖・駅・...)が多いのか。	
(2)結び付く世界と日本の開国		・なぜ欧州とアジアの軍事的・経済的優位関係は逆転したのか。		
	2	・清を中心とした東アジアの貿易網と江戸幕府の鎖国体制	・19cヨーロッパが求める貿易と、清を中心とした東アジアの貿易網の違いは何か。	
	3			
	4	・産業革命と交通・通信手段の革新	・産業革命とはどのような変化だろうか。	
	5	・産業革命とイギリスの社会変化	・産業革命によって、イギリスではどのような社会変化がおこったか。	
* 本時	6	・英・清間の貿易変化とアヘン戦争	・アヘン戦争は清を中心とした東アジアにどのような変化をもたらしたのか。	
	7	・日本の開国	・欧米諸国の東アジア進出は、日本にどのような変化をもたらしたのか。	
	予備①			
(3)国民国家と明治維新		・なぜ国民国家の形成は帝国主義に結びつくのか。		
	8	・アメリカ独立革命・フランス革命と国民国家の誕生	・人々の権利意識はどうして芽生えたのか。	
	9			
	10	・日本の近代化(明治維新)と国境の画定	・東アジアに「近代」はどのように訪れ、何を変えたのか。	
	11	・帝国主義の中の日清・日露戦争	・「近代」は東アジアにどのような違いを生んだのか。	
	12			
	予備②			
(4)近代化と現代的な諸課題		・欧州の帝国主義的進出が、現代に残す課題とは。		
	13	・東南アジアの植民地化と農業の変化	・砂糖などの強制栽培が、どのような影響を現在に残しているのか。	

タイトル「英・清間の貿易の変化とアヘン戦争」

主題 「近代化」が東アジアにどのような変化をもたらしたか

（1）導入



ネメシス号を描いた銅版画 エドワード＝ダンカン作

問1 この絵は何戦争を描いているか？

答え. アヘン戦争

問2 A・Bの船はそれぞれどの国の船か？

答え. A 清 B イギリス

問3 A・Bの船の違いは何か？

答え.

問4 どうしてそのような差が生まれたのか？

答え.

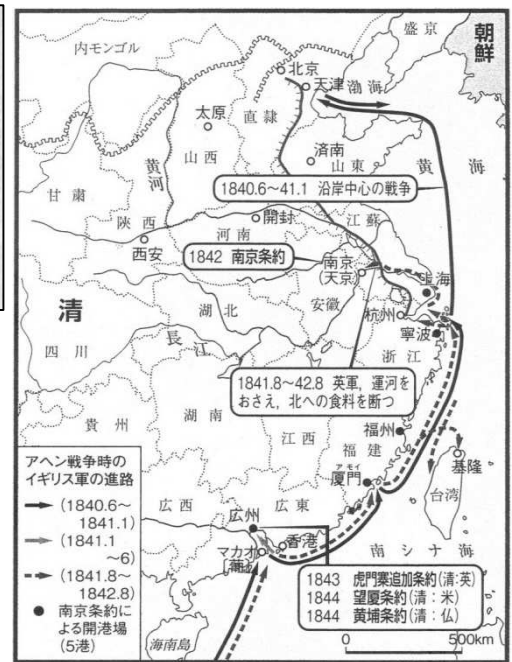
（2）アヘン戦争の概要



上海のアヘン窟



ケシの実



アヘン戦争関連地図

18C後半

英

（ 1 ）産アヘンを清へ密貿易



1839年

清

（ 2 ）を派遣

→ イギリス商人からアヘンの没収・廃棄

英

議会 「清への艦隊派遣」

賛成 271 対 反対 262 ⇒ アヘン戦争 (First Opium War) 1840-42

1842年 南京条約

- 第2条 5港（広州・上海・厦門・福州・寧波）開港
- 第3条 香港島を英に割譲
- 第5条 公行（特許商人の組合）の廃止と自由貿易の実施
- 第6条 賠償金 2100万ドルを英に支払う
- 第10条 対等の国交・開港地への領事駐在の承認

英

の真のねらいは…

(3) 戦争の背景

1757 年

清

乾隆帝 貿易制限令

ヨーロッパ人との貿易港を (3) 一港に制限し、特許商人の (4) が取引を独占する (5) 形式の貿易に限定。

片貿易



問 5 図中 A には何が入るか？

答え. _____

1793 年

英

マカートニーを清へ派遣



乾隆帝

「 _____ 」

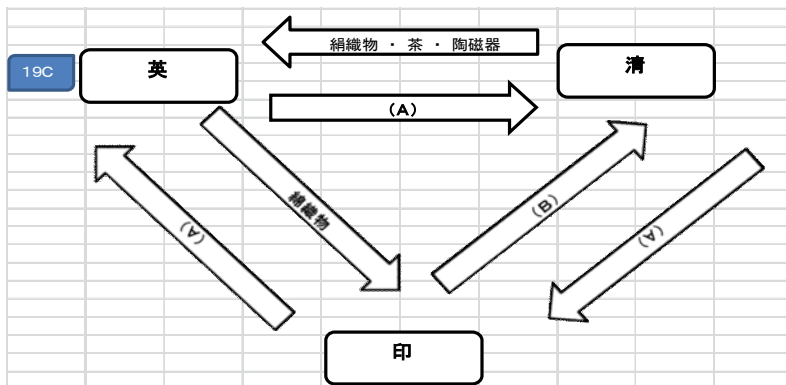
問 6 マカートニーと乾隆帝はどのようなやり取りをしているだろうか？

マカートニー

「 ○○ 貿易をお願いします。」

乾隆帝に謁見するマカートニー ジェイムズ=ギルレイ作

三角貿易



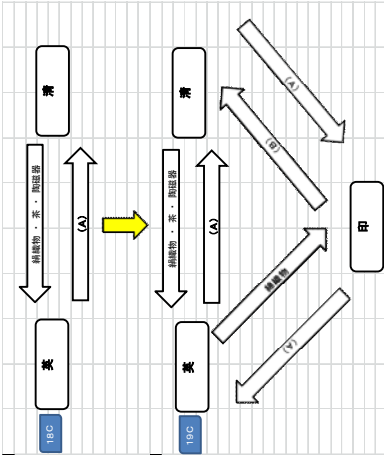
問 7 図中 B には何が入るか？

答え. _____

(4) 発展 (次回にむけて)

問 8 東アジアにおいて、清同様に制限貿易を実施していた国はどこだろうか？

答え. _____

イギリスのアヘン戦争における思考				別紙③	
変換操作	全体関係	変容3	 このA・Bの船の違いは、どのような背景から生まれたのか？	南京条約の条文から、アヘン戦争におけるイギリスの「ねらい」を考え、述べなさい。	戦争という結果ではなく、「持続可能な発展のため」、あなたならどのようにしてイギリスにも清にも利益の出る関係を築いていきますか？述べなさい。
複雑操作	カテゴリーイズ	複雑2	 このA・Bの船の違いは何か？	図中A・Bに当てはまるものは何か？ 	産業革命を成し遂げた国と、そうでない国が自由貿易をおこなった場合、どのような状況になるか推測し、述べなさい。
手順操作	単純関係	単純	 この絵を見て、(1)この戦いは何戦争を描いたものか？ (2)A・Bの船は、それぞれどこの国の船か？	マカートニーと乾隆帝の会話を想像してみる 	もしあなたが英国首相であったとしたら、当時の有権者に、開戦理由をどのように説明しますか？述べなさい。
数	言語		A知識・理解思考 知識・理解	B論理的思考 応用・論理	批判・創造

授業振り返りまとめ（入試問題にチャレンジ）

1820 年代初頭の、ヨーロッパ諸国に対する清朝の交易体制と、その後の同国の交易体制の変化について。

（一橋大学 2012 年入試問題）

清は対ヨーロッパ貿易を（ 1 ）一港に制限し、特権商人の（ 2 ）に独占させる（ 3 ）形式の貿易のみを認めていた。（ 4 ）超過の片貿易に苦しむ英は、インド産（ 5 ）の密輸を開始して三角貿易を形成、（ 6 ）の流出やアヘンの蔓延で苦しむ清はアヘン戦争で敗北。（ 7 ）条約で、五港開港、公行の廃止など英主導の（ 8 ）貿易体制に組み込まれ、虎門塞追加条約で（ 9 ）自主権も喪失した。さらに、（ 10 ）戦争後には開港地も拡大し、アヘン貿易も公認した。（200字）

授業振り返りシート

年 組 番 氏名

・授業のテーマ（主題）

・この授業で、あなたが わかったこと は何ですか

・思考コード（C創造的思考）の1題を選び書きましょう（あ・い・う）

主題

「近代化」は、東アジアにどのような変化をもたらしたか

(2)

アヘン戦争の概要

Q、イギリスのアヘン戦争における真のねらいは何か

(3)

戦争の背景

1757年 乾隆帝

貿易制限令

Q、マカートニーと
乾隆帝はどのような
会話をしたんだろうか

Q、東アジアにおいて、清同様に制限貿易を実施していた国はどこか